

# ハウス内の情報をデータで取得し、栽培環境を最適化

可視化

データ共有

申請事業者：株式会社ひじかた（日南市）  
業 種：農業

従業員数：10名  
設 立：2020年



## 適切な温度・湿度・CO<sub>2</sub>濃度を維持し、最適な栽培環境を実現！

### 取組の概要

導入部門：農業生産部署

導入業務：ピーマン栽培管理業務

導入目的：ハウス内モニタリングの自動化、温度・湿度・CO<sub>2</sub>濃度調整の負担軽減

導入技術：モニタリングシステム「ハウスファーム」、細霧機器、光合成促進装置

導入手法：ハウスファームでハウス内情報のリアルタイムでのモニタリングを実現し、

細霧機器で温湿度の自動調整と葉面散布を行い、

光合成促進装置でCO<sub>2</sub>濃度を自動調整

導入費用：¥5,249千円（税抜）



適切な温度・湿度・CO<sub>2</sub>濃度  
を提示



細霧機器



光合成促進装置

### 取組の背景

#### ●抱えていた問題点

- ①ハウス内の温度調整が、雨や外気温に左右されやすく手間がかかっていた。
- ②二酸化炭素や湿度が不足し、適正な果実に育たないことが頻発。
- ③葉面散布を毎日人の手でっており、時間を要していた。

#### ●解決に向けた課題設定等

- ①24時間ハウス内のデータを取得し、可視化することで、調整の負担を軽減。
- ②③全て自動で稼働させることで、人の手を介さない、正確な作業を実現。

### 取組の成果

#### ・温度確認にかかる時間を、90%削減

ハウス内の温度を確認する時間 20時間/月 → 2時間/月

#### ・温度調整にかかる時間を、80%削減

ハウス内の換気や湿度保持のための散水作業 50時間/月 → 10時間/月

#### ・葉面散布にかかる時間を、80%削減

光合成強化のための葉面散布の作業 5時間/月 → 1時間/月

ハウス内モニタリングシステム